

九州南部・奄美地方の1か月予報解説資料

(12月24日から1月23日までの天候見通し)

平成23年12月23日
鹿児島地方気象台発表

1. 出現の可能性が最も大きい天候の特徴

(1) 向こう1か月

平年と同様に、九州南部では晴れの日が多く、奄美地方では曇りや雨の日が多いでしょう。

期間の前半は、気温の変動が大きい見込みです。

(2) 各期間の天候

1週目(12.24~12.30)

向こう1週間は、九州南部では、期間の前半は高気圧に覆われて晴れの日が多く、24日は雨の降る所があるでしょう。後半は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となるでしょう。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りの日が多く、期間の後半に雨の降る日があるでしょう。

(詳しくは週間天気予報をご利用ください。)

気温は、九州南部で低い確率60%、奄美地方で低い確率50%です。

2週目(12.31~1.6)

天気は、平年と同様に、九州南部では晴れの日が多く、奄美地方では曇りや雨の日が多いでしょう。

気温は、高い確率50%です。

3~4週目(1.7~1.20)

天気は、平年と同様に、九州南部では晴れの日が多く、奄美地方では曇りや雨の日が多いでしょう。

2. 地上気温予報資料

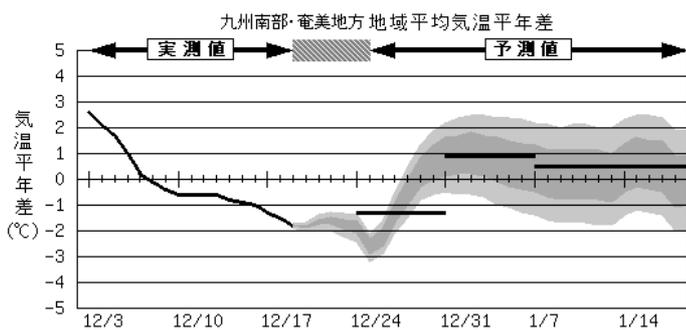


図1 九州南部・奄美地方の地上気温予想図

※ グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日を表しています。例えば、横軸“4日”の値とは“1~7日の平均値”の意味です。実況期間の太い実線は地域平均気温平年差(7日平均値)を表しています。

※ 予報期間には、7日平均気温の予測に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影)を表示しています。

※ 予報期間の水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表しています。

※ ハッチの期間は、発表日の観測値が確定してないため、観測値と予測値に基づいて結んでいます。

3. 九州南部・奄美地方の代表地点における天気日数の平年値

表1 各地点における平年の天気出現日数

鹿児島	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	14.1	3.9	3.5	6.6
降水日数	7.7	1.7	1.9	4.1

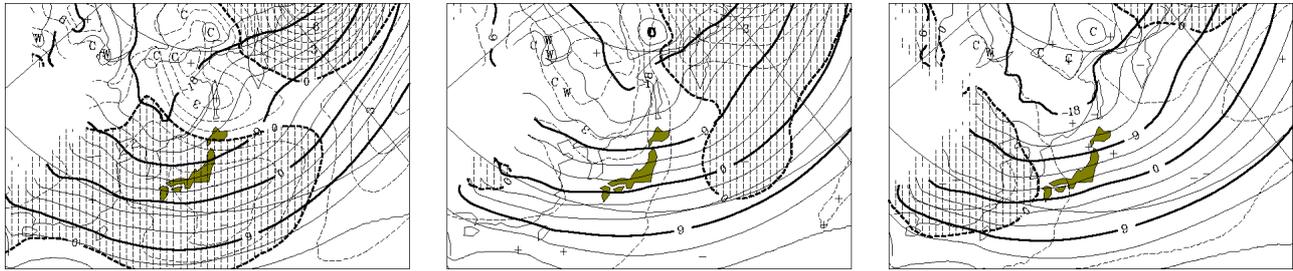
宮崎	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	19.8	5.2	5.1	9.7
降水日数	4.7	0.9	1.1	2.6

名瀬	4週合計	1週目	2週目	3~4週目
晴れ日数	5.5	1.5	1.3	2.6
降水日数	13.6	3.2	3.4	7.1

4. 予想循環場の特徴

週別の850hPa気温の予想図(図2)では、1週目は九州南部・奄美地方では寒気の影響が強いため平年より気温が低くなる予想です。2週目以降は正偏差に覆われるため、平年並か平年より高くなる見込みです。週別の地上予想天気図(図3)では、1週目は冬型の気圧配置となっていますが、2週目以降は等圧線の間隔が広がっており、冬型の気圧配置は弱い予想です。

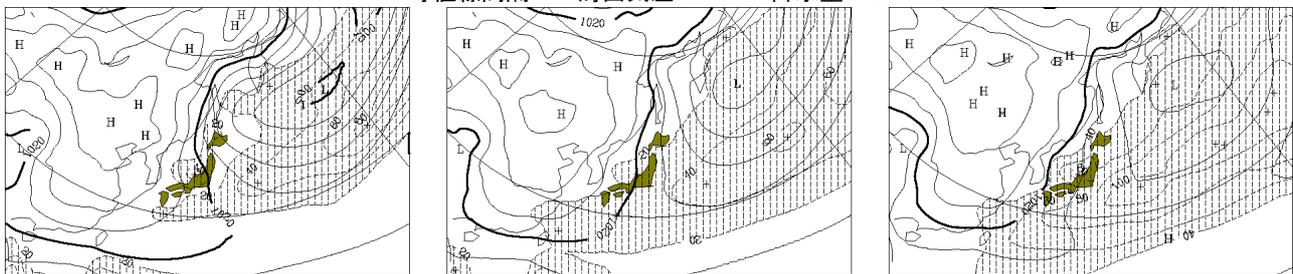
等値線間隔 気温: 3°C 平年偏差: 1°C



1週目(12.24~12.30平均) 2週目(12.31~1.6平均) 3~4週目(1.7~1.20平均)

図2 850hPa気温と平年偏差(陰影は平年より気温が低い領域を示す)

等値線間隔 海面気圧: 4hPa 降水量: 20mm



1週目(12.24~12.30平均) 2週目(12.31~1.6平均) 3~4週目(1.7~1.20平均)

図3 地上予想天気図(陰影は20mm(1週目、2週目)、40mm(3~4週目)以上の降水が予想される領域を示す)

5. 最近1週間(12月16日~12月22日)の実況

最近1週間は、九州南部では期間の中頃までは高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、その後は気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨となりました。奄美地方では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

気温は、全ての地点で平年を下回り、地域平均平年差は九州南部では-2.0°C、奄美地方では-0.9°Cとなりました。降水量は、九州南部では全ての地点で平年を上回りました。地域平均平年比は九州南部では12%、奄美地方では109%となりました。日照時間は、九州南部では、多くの地点で平年を上回り、奄美地方では平年を下回りました。地域平均平年比は九州南部では99%、奄美地方では50%となりました。

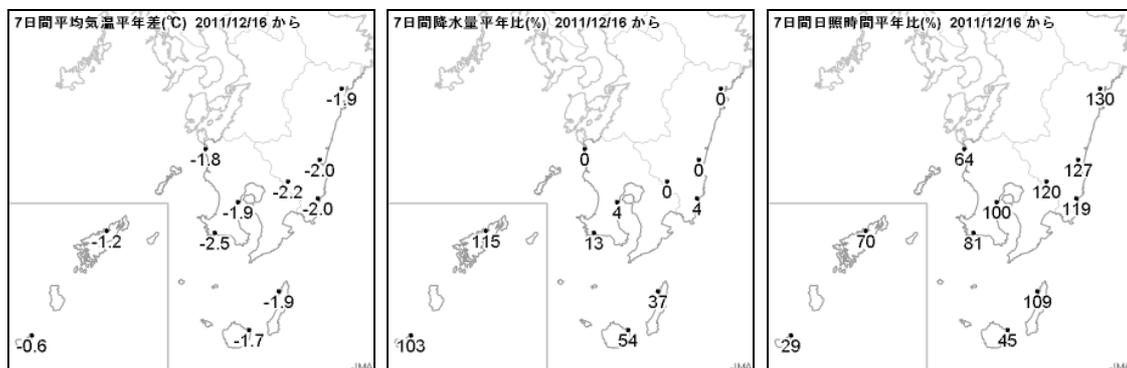


図4 九州南部・奄美地方の最近1週間(12月16日~12月22日)の実況

※注

- ・ 1か月予報では大気の流れの状態により、予測しやすい場合と予測しにくい場合があります。このため、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用し、予報結果のばらつき具合から予報の信頼度や確率を計算します(この手法をアンサンブル予報といいます)。一般に予報結果がばらつかないほど信頼性が高くなり、最大予報確率も大きくなります。また、すべての予報結果を平均した予報(アンサンブル平均予報)は、最も信頼性が高い予報と考えられます。
- ・ 季節予報では「日照率40%以上の日数」を晴れ日数、「降水量1mm以上の日数」を降水日数と定義しています。この2つの事象は同じ日に起こり得るため、両方に数えられる日もあります。
- ・ 九州南部・奄美地方を九州南部(宮崎県、薩摩地方、大隅地方、種子島・屋久島地方)と奄美地方とに分けて表現しています。特に表現しない場合は全域を指します。